

NPO法人倉敷町家トラス

：令和6年度事業計画（2024）：

事業

* 官民連携まちなか再生推進事業

第3期中心市街地活性化計画に伴う事業の推進

（くらしきになるエリアプラットフォームでの未来ビジョンの策定など）

「倉敷創生塾」の実施。連携事業として人材育成とトラスで蓄積したまちづくりをビジョンに活かしたい

（国土交通省補助金事業）

* HUL倉敷の取り組み

HULの概念を踏まえ、美観地区周辺の景観整備の未来ビジョンの提案と具体的なルールづくりを目指す。くらしきになるエリアプラットフォームでは高齢者問題、コミュニティ、観光、商業、教育など多彩な社会システムとの関わりを念頭に学生はもとより若い市民の巻き込み、地域の未来ビジョンとそれを実現可能にする社会実験などにも活動を広げる。

* 歴史的な町家・町並みの保存・再生

（総合的なまちづくりはHULと連動、組織づくり、相談、研究、調査、啓発と政策提言）

町家再生を取り巻く環境は資材の高騰、レジリエンスへの対応、人材と技術継承、ルールの整備など多くの課題がある。トラスでは対応できない課題を図るため専門家との連携が欠かせない、全国町並み保存連盟、全国作事組協議会、建築士会、各種職能集団、工務店などと積極的な交流と活動を図る。

* 地域資産の利活用・管理 「宮坂町の家」「御坂の家」「Y家」、川上家、

* 持続可能な観光ガイドラインの取り組み

* 備中町並みネットワーク

「町家deクラス2024」、流域町並み調査および支援、高梁川流域の文化的景観都市部と中山間地の連携(備中でクラス)を追加テーマに

* 中心市街地の町家悉皆調査継続

* 教育機関、各種団体との協働事業

（ノートルダム清心女子大学、川崎医療福祉大学、就実大学など県内大学、倉敷青陵高等学校など市内高等学校、倉敷伝建地区をまもり育てる会、倉敷東学区社会福祉協議会、全国町並み保存連盟、全国作事組協議会、高梁川流域学校など）

* **SDGs推進**を前提として法人運営、企画事業、連携事業の活動で取り組みを進める